

# レイバー・ノーツ大会2022 Inシカゴから いかせる教訓は何か

— いま欲しいのは労働組合 —

It's Union Time



## レイバーノーツ/Labor Notes大会

- レイバーノーツ = 1979年創立
- 雑誌発行、労働学校・ワークショップ
- 2年に一回大会（交流集会）次回は2024年4月
- 2012年から全労連は参加
- 「労働運動に運動を取り戻す」がスローガン
- 職場民主主義、rank-and-file組合運動
- 教員、製造業、医療などあらゆるたたかう活動家が参加

→間違いなく今年の大会が最高、4000人参加、250のワークショップ



## 米国労働運動の基礎知識

- 1986年AFL誕生→1935年全国労働関係法（ワグナー法）制定
- CIO（産別会議）の結成 1938年公正労働基準法制定
- 1947年にタフトハートレー法制定（スト権制限、クローズドショップ廃止）
- 1955年AFLとCIO合併 AFL-CIOに マッカーシズム（進歩派排除）
- 組織化の波→世界大恐慌期の組織化、第二次対戦後の組織化、公民権運動

\* 排他的代表性/exclusive representation 協約は3-4年に一回改定

\* 労働権法/right to work （過半数の27州で組合に入らない「自由」が）

\* 組織化するには = 全国労働関係法は排他的交渉単位制度を採用しており、この制度の下においては、労働組合を組織する場合には、交渉単位の労働者の30%以上の賛成署名を集めるとともに、選挙において労働組合は過半数の支持を得なければならない。

## この間の組織化成功の事例

teenVOGUE

- 2022年前半で、認証選挙申請が57%増
- 組合への支持が60年代以降最大、71%
- 特に青年層での組合支持が高い

組織化の広がり + 組合のたたかひの活性化

- Googleの親会社AlphabetなどIT関係
- MIT、コロンビア、UCなど院生講師
- メディア、芸能
- 自然史博物館、シカゴ美術館、、、  
そしてスタバとアマゾンの組織化

